

Chor Lotus



ごあいさつ

CHOR LOTUS 顧問 田 中 早 苗

昨年の1月、独力で半ば暗中模索の内に行いました第一回演奏会からはや一年経ちました。その間の部員一同の歌の進展ぶりを、今日愛好者たる皆様方の前に御披露できますことは喜ばしい限りでございます。若さに溢れたロータス部員一同は、その情熱をぶっつけてめざましい進歩の跡をみせ、本年度は中国地方総合第一位を獲得し、晴れて全日本コンクールに出場することができました。東京での晴れの舞台において、一同は多くのものを学び得たことと思います。若い熱情を最大の拠りどころとしてひとり歩きをしている一同にとって、この上ない良い薬であったようでございます。その薬の効き目を今日の演奏に充分あらわしてくれるよう願ってやみません。

東京大会に随行して耳にいたしました評の中に、「ここは変っていて面白いじゃないか」というのがございました。確にそうでありましょう。その変った面白さが本物となり、今後、より深い進境をみせてくればと望むと同時に、寒中態々御来場下さいました皆様方の、より一層の暖かい御支援、御鞭撻をお願いいたします。

終りにコール・ロータスの為に、賛助出演いただきましたNHK岡山児童合唱団、御後援下さったNHK岡山放送局、山陽放送、医学部学友会各位に、厚くお礼申し上げます。(岡山大学医学部第一外科助教授)

コール・ロータスに期待する

和田久宣

さきごろ中国合唱コンクールで第一位とて意気揚々と帰ってきたとき、我々はコール・ロータスをあらためて認識したものです。

一同好会の形で発足したこのサークルは、その短い一年間の活動ぶりを認められて、昨年5月、医学部男声合唱団「コール・ロータス」として初めて当学友会へ加入することになりました。

こんなことに関しては無器用者揃いの480余人の医学部学生の中から人を集めて、ピアノもない講義室で練習すれば、たちまちの隣の病棟から苦情がもちこまれる……そんな条件の中で彼らは逞しく成長してきたようでありまして。そして内容において質量ともに驚くべき発展をとげて、今日では多数の人員を擁し、学内外での活動の最もめざましい部となりました。部員に若い学生の多いことは、今後を一そう楽しみなものに思われます。

実際のこと昨秋のコール・ロータスの快挙はいらい、門外漢の我々までが「合唱」という言葉を不思議にもなんと身近に感じるようになったことか……彼らは今や我々の代表的団体の一つとなりました。それだけに我々が寄せる期待は決して小さいものでなく、彼らがさらに自らを鍛えて高い水準へと飛躍してくれることを念願してやみません。

団員諸君は、今こそ日頃の成果を十二分に發揮して、我らのコール・ロータスとして若々しくも美しく、真摯たる演奏を披露するでありましょう。今宵、御来聴のみなさまの忌憚なき御批判を仰ぐ次第であります。(医学部学友会委員長)

あいさつに代えて

「我らロータスの実を喰いて忘憂の巷を彷徨。しかしてここに合唱の桃李の芳園を作らんとして云々……」常に変わらぬ暖かい御支援をたまわっております合唱愛好者の皆様、今日は私達の演奏会の為に寒風いとわず御来聴下さいまして有難うございます。一同厚く御礼申し上げます。

牛の歩みの如くではございましたが、私達ロータス今年二年の総決算としてここに発表させていただきます。昨年は中国総合一位などという似つかわしからぬ名誉をいただきましたが、全日本大会のステージ立って、私達の合唱がいかにも未熟なるものかを感じ、その難しさを改めて認識いたしました。天性備った声—ガサ声やドラ声—が集り一つの「音楽」を形成しようとするのですが、私達にとっては「音が苦」でさえあるのです。然し、何か執念のようなものにとりつかれ、合唱することの巷をさまよっております。そして悲願は近い日に日本の合唱レベルに追いつき、それがもつてないもので追いつくことです。今宵も苦業を共にした男五十人が一団となって力の限り唄いハモります。共に楽しんで頂きとうございます。然る後厳しい御批判、御鞭撻をいただければ幸でございます。

今回は、その道においてははるかに先輩であり、全国でも三指に入るNHK岡山児童合唱団に、私達の到らぬ演奏に花をそえていただくべく、賛助出演をお願いいたしました。「児童コーラスの皆様、今日は本当に有難うございます。よろしく願いたします」

この演奏会を催すに当り、多大なる御援助いただきました皆様方、並に御後援下さいましたNHK岡山放送局、山陽放送、医学部学友会各位に心から御礼申し上げます。

コール・ロータス・メンバー一同

2nd CHOR LOTUS RECITAL



(全日本コンクールにて)

指 揮 武 内 成 礼 ・ 高 杉 潔
1 9 6 3 . 2 . 2 . (土) P . M 6 : 0 0
主 催 C h o r L o t u s
後 援 N H K 岡 山 放 送 局
山 陽 放 送 株 式 会 社
岡 山 大 学 医 学 部 学 友 会

ロータス・マンのよろこび

自己紹介

名称：ロータスとはスイレン、蓮の総称で、この実を食べれば憂世のうさを忘れ、極楽の夢を結ぶといわれました。つまり浮世に愛想をつかした若者たちが集まって、歌い、雑談清談にふけりて忘憂の境を楽しむわけです。

出生：1961年4月17日、春のざ日しの中で、芝生に円陣を作った十数名の男が産湯をつかわし、名をつけてやりました。安産とはいえませんでした、細々とこの浮世の空気を吸ったり吐いたりして、少しずつ大きくなりました。春秋の合唱祭で話題をまき、一月に（誕生日前に）第一回演奏会を目出度開いて岡山に Chor Lotus ありと勇名をとどろかせました。

発育度：「私は二才」というのに、異常発育をとげた。これは生みの親、育ての親の手あつい養育と、貪慾なまでに親（指揮者）の活力剤を吸収したためです。

将来：さらに丹精するなれば「大吉」と出た！人集め、人作りに専心すべし！



合宿でのパート練習風景

ロータスでは大声を存分に出せるぞ！

酒を飲んで通りを歩く、高い山の頂に立つ、どうにも気分がすっきりしない、こんな時に「ウオー」実にすっきりする。ところが、この世は住みにくく、めったな所ではだめです。その点 Lotus の練習場では大丈夫安心して大声が出せるのです。その上、練習場に行けば、歌は下手だが、気のいい気心の知れた連中に会える。楽しい練習ですが、いつものんびりというわけではなく、厳しい耳と、大きな怒声にビクビクし乍ら次第に芸術の香高い演奏が出来るようになるのです。一度聞けば何人でもトリコになってしまう男声合唱に魅せられた私達は、苦しい練習にも耐えるのです。その魅力とは、圧倒的ヴォリューム、ハモった時体内より湧き上る充実感、発声法その他に依る表現力の豊かさ etc. 今宵は、心ゆくまでお楽しみ下さいませ。



110広角ブラウン管使用
豪華テレビが
毎月¥2,500円で！

岡山市野田屋町271（岡ビル）

東芝ストア
東芝リンクストア
東芝サービスストア

友野ラジオ店

TEL ③ 5831



合宿中のレクリエーション？

合宿・コンクール

夏期合宿は県北の那岐山中腹の菩提寺にて暑さ知らずの連日、お互の腹工合も知り合う程の打ちとけ様、ここで一年生から六年生までのギャップは完全に消失、登山、中学校を訪れての演奏旅行もおりませでの愉快的合宿ではあった。いよいよ秋になり、コンクールのためあらゆるものが犠牲となる。すなわち、デイト・ガクモン、これは涙で明け涙で暮れた2カ月に亘った一大長篇物語であった。何しろ、井の中の蛙、経験不足の我々の心は度々の緊張にいちいせ、しかもせいっぱい反応した。力一杯歌い、日本合唱界に漣を立て、涙と共に静かに西下し捲土重来を期す。さあ今年もやりますよ！

育ての親・生みの親

武内成礼君（学I）＝バサバサの髪、ギョロリとした目、黒い色、名付けて“酋長”という。この人を失えば Lotus はのたれ死にす。我々平メンバーはベートーベンの再来ではないかと畏敬の念を払われ、絶大なる権力を有し何人も逆えない。彼の實力は全国でも十指



洞上げされるオジイちゃん



武内氏

に入る。

高杉潔君（学IV）＝ Lotus の頭脳を全部集めても彼のそれに及ばない。愛らしき声を有し、初代の Cap. 生みの親です。子供が大きくなれば親は年をとります。今は“おじいちゃん”と字名します。

Bass の端に居る、めがねの色白の大男、人並以下の低音を生ぜしめる不思議な動物、通称“銀さん”こと須原銀兵衛君（学IV）

Bariton の中央にいる、インドネシア代表とみまちがえられる一見好男子、甘い声で万人をとらかす男、本名“ポリオ”俗名今城保君（学I）

どの男の顔も、スルメの様にみればみる程“味”がある。どれも“馬鹿さと貧乏”を看板にして、唄うこと以外は何でも器用にこなす男達です。この人種を“ロータス族”という。

中国随一 ほんとにステキネ！

マツダの高級紳士服

マ ツ ダ 洋 服 店

岡山市東中山下124 TEL ② 8622

I Stage

宗 教 曲

C. F. Gounod

Second Mass in G. より

Kyrie

Gloria

Agnus dei

※

“Mass”はカトリック教の儀式の総称であり、その儀式進行のいわば“Back music”なるものがミサ曲であります。

宗教曲は音楽をするもの一合唱をするもの一が必ず求め、越えなければならぬ深い音楽性と人間性を有しております。この曲は特に男声合唱に卓越した作品を多く残し、自身聖職を志したことのあるグノーの作に成り、底を流れる信仰心には心打たれます。通常ミサ曲は 1. Kyrie 2. Gloria 3. Credo 4. Sanctus 5. Agnus dei の五楽章からなりますが、今回はその内の三曲を演奏いたします。

※

作曲者 Charles Francois Gounod (1818—93) はフランスに生まれ、フランスのロマン派音楽を形成するに大きな功績を残し、ベルリオーズやマイエルベールの後を受けてフランスのブラームスともいべきフランクとの間にあって、シューマンの様な位置を占めている。オペラ 声楽曲の作曲家として有名であり、彼自身男声合唱団を組織し、ロンドン、パリで活躍しただけに男声合唱曲が多い。

代表作には歌劇「ファースト」「ロミオとジュリエット」歌曲「アベ・マリア」「セレナーデ」などおなじみのものが多い。

※

I Kyrie (キリエ)

「主よ 隣み給え」

「キリスト 隣み給え」

「主よ 隣み給え」

第1行を強く歌い出し“主よ”と語りかけ隣み給えと叫ぶ。くり返し、くり返し信仰心をよびます。

※

第2行は虚なひびきで、がらんとした会堂にひびき、pp~ffに迫真する。

再び第3行“主よ”と歌い、ベースの基音にテナーが美しく唄い終る。

II Gloria (グローリア)

「天においては天主に榮あれ

地においては善意の人に平安あれ

我ら主を讃え、主を崇め

主を拝礼し、主を讃美し奉る

.....

※

主なる天主、天の主、全能の父なる天主」とキリストを崇め、讃し、いきなりffで唄い Allegro Maestoso で力強くどっしりと歌う。

「主は世の罪を除き給うにより、我らをあわれみ給え、我らの願いをきき入れ給え」4拍子で弱く、しかし美しく“祈り”を奏でる。

※

「きき入れ給え」と強く、全身で、うたえる。そして「あわれみ給え」とくり返し pp に終る。

再び Allegro Maestoso で「主は 聖霊と共に、天主なる父の光榮にましまし給うなり、アーメン」と、テナーとベースがメロディーをからみ追いかけて最後をもち上げる。

III Agnus dei (アニュスディ)

「世の罪を除き給う天主の子羊、我らを隣み給え、我らに平安を与え給え」

※

ミサの終曲にあたり、典礼文といわれ、全曲Dで流れるように奏る。そして静かに平安を祈りつつ全曲を終る。

II Stage

ポピュラー曲

1. Ständchen

ヴォルフ 作詩
マルシュネル 作曲

小夜曲（セレナード）ともいい、シューベルト・キセリ・フラスキータのセレナードなど、おなじみの曲が多い。恋人の窓辺で、ギターをかきならしつつ、胸の思いを歌にたくして望みを伝えたといわれる。昨今の喫茶店の片隅で「好きだよ……」なんていう風俗と違って、仲々風情があるではありませんか。今宵はあまりおなじみではありませんが、いかにも恋歌らしい、美しいメロディー、ハーモニーをお楽しみ下さい。

2. Lore-Ley

ハイネ 作詩
ジルヘル 作曲

少しでも音楽が好きならば、知らぬ者はいないという程、有名な曲、ローレライ。ライン河の難所で、美しい声で舟人を誘うという妖精の伝説によりハイネが作詩したもので、日本でも明治時代以来、何代もの人々が親しんで来た、なつかしい曲。

3. Love's old sweet song.

ビンガム 作詩
モロイ 作曲

題名を知らぬ人でも、メロディーを聞けば必ず何処かで聞いたはず。ハミングに乗ってロータスの誇る、バリトン・ソロが甘く歌い上げる。作曲者モロイは、アイルランド生れ、ロンドンで弁護士をしていた。作詞はビンガムという無名人。

4. Ol' man river

オスカー・ハマーステュイン 作詩
ジェローム・カーン 作曲

「南太平洋」「回転水馬」「オクラホマ」等数々のミュージカルで我々を楽しませてくれた、オスカー・ハマーステュインとジェローム・カーンの名コンビに依る「ショウ・ボート」の中で歌われたもので、黒人達の生活とアメリカ中央部をメキシコ湾に向って流れる大河、ミシシッピー河との物語を歌ったもの。(TON)

III Stage

組曲「山に祈る」

清水脩
作詞・作曲

朗読 岡大放送文化部
伴奏 小林芳子

昭和34年秋、長野県警察本部では、山での遭難の頻発に業をにやして、遭難者の遺族たちの手記を集めた「山に祈る」という小冊子を発行して、遭難防止を訴えた。ダーク・ダックスは、その巻頭に載った、上智大学山岳部の飯塚揚一君の遭難を、同君の残した日誌と同君の母親の手記によって、一篇の合唱組曲につくる企画をたて、清水脩氏にその構成、作詞、作曲を依頼した。

同氏は、この曲をつくるにあたって、前記の小冊子を中心に、「山岳遭難記」上智大山岳部誌、地図その他を参照し、特に遭難当時のパーティであった学生からも話を聞き創作にあたったのである。多少の誇張と、フィクションをまじえて作者の山への思慕も盛られてある。

内容は、前述の通り一遭難者が書き残した最後の手記と、我が子を亡くした母親の悲しみとを、朗読と合唱とで進めてある。母親の朗読で物語の筋を進め、歌はその外側にあって、物語の情景や情緒を表現する役目を果している。従って、主人公の元気な姿から死にいたる筋に合わせて、最初の「山の歌」から最後の「お母さん、ごめんなさい」にいたる6曲の歌は、明るい曲調から次第に暗い曲調へ移ってゆく。今回は朗読の部分を母親と息子の2人の朗読の形で進めてみた。なおこの遭難した場所は、北アルプス山系の表銀座と称せられるルートにあり、夏は最もにぎわう3000米の稜線にある。

〈前奏〉

山の歌

1. 山よ お前のふところは
山の男のふるさとよ
うれしい時は山へ行く
さびしくなれば尾根歩き
2. 山よお前の あて姿
岩場 草つき 雪渓も
みんなお前の肌の色
抱いてもみたい肌ざわり
3. 山よお前よ いつまでも
ほくはお前を忘れまい
お前もほくを忘れずに
お前もほくを忘れずに

〈間奏〉

一朗 読一

〈間奏〉

一朗 読一

〈間奏〉

一朗 読一

リュックサックの歌

リュックサック リュックサック
肩に食い込む重さでも
山の友だと思えば軽い
背中にずっしりかかれればかかれ
踏みしめ登る急坂も
リュックがあれば気がはずむ

一朗 読一

〈間奏〉

一朗 読一

山小屋の夜

満天の星 凍る夜気
山々はくろぐろと 雪に埋もれた小屋を包む
カンテラの鈍い光 リュックを枕に、重い足を
長々と伸ばして眼をつむれば
あれもこれもまぶたの奥に
揺れるように映る
明日も晴れてくれ。

—朗 読—

山を憶う

なぜ 山を憶うのか
山は神秘だから。
なぜ 山を慕うのか
山は優しいから。
なぜ 山に挑むのか
山はきびしいから。
怒れば巨人となって
人間の知恵を打ち突き
ほほえめば乙女となって
汚れない愛を降りそそぐ。

<間 奏>

—朗 読—

なぜ 山へ登るのか
山がそこにあるから

吹雪の歌

吹雪 吹雪 吹雪
引き裂き うなり
噛み挫き のたうつ
白い悪魔の雄たけび
白い巨人の咆哮。

吹雪 吹雪 吹雪

—朗 読—

<間 奏>

—朗 読—

お母さんごめんなさい

お母さん ごめんなさい
やさしいお母さん ごめんなさい
ゆたか、やすし、順子よ、すまぬ
お母さんをたのむ。

<間 奏>

—朗 読—

お母さん ごめんなさい
やさしいお母さんごめんなさい
さきに死ぬのを許して下さい。

<間 奏>

—朗 読—

(山でうぬぼれずつねに自重すること)

お母さん ごめんなさい
やさしいお母さんごめんなさい

IV Stage 賛助出演

今晚は“NHK岡山放送児童合唱団”です

指揮 片岡 渙 史

伴奏 板谷 博 光

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| 1. 天 気 雨 | 国分 伝三 作詞
西崎 嘉太郎 作曲 |
| 2. 汽 車 ポ ッ ポ | 本居 長世 作詞・作曲
小川 一朗 編曲 |
| 3. ひ る ま の 星 | 中田 浩一郎 作詞
川口 晃 作曲 |
| 4. 落 葉 | 富原 義徳 作詞
室崎 琴月 作曲
石瀬 三郎 編曲 |
| 5. 雪 の 幸 福 | 丸山 薫 作詞
川口 晃 作曲 |
| 6. 春 の 足 お と | 京嶋 信 作詞・作曲 |

※

※

※

※

※

※

※

岡山放送児童合唱団が生まれたのは、終戦後の混乱もさめやらぬ昭和21年のことです。こどもたちの明るい歌声が、このときほど、人々に大きな希望とよろこびを与えたことはなかったでしょう。

それ以来すでに20数年、岡山放送児童合唱団は、大きく成長しました。かつて、この児童合唱団の団員だったかわいいこどもたちも、いまや立派に成長し、なかには音楽の道を進んで、声楽家として活躍している人もいますし、あるいは音楽の好きなよいお母さんになっている人もあるでしょう。

ラジオやテレビ、あるいは演奏会に、岡山における音楽活動のなかで、岡山放送児童合唱団は、すぐれた技術と美しいハーモニーで、大きな役割を占めて来ました。北米、ハワイ、ヨーロッパ向け海外放送や二期会が岡山で上演した「カルメン」などの数々のオペラにも出演し、独自の公演としては「森の音楽会」「時計屋の店」などのオペレッタを、こどもたちだけで、立派に上演して来ました。

毎月のラジオの放送だけでなく、毎年夏には移動音楽教室を県下各地で開き、村の方がたとは勿論のこと、小学校や中学校のみなさんとお友達になっています。

岡山放送児童合唱団の美しい歌声は、今後ますます岡山県下にひろがることでしょう。

＜ロシア民謡について＞

歴史は古く、10世紀の初頭キエフ侯国が全土を支配していた頃、グースリという大正琴に似た民族楽器を肩にかけた吟遊詩人が、諸国を歌い歩いていた叙事詩がその源といわれています。彼等は教会音楽とは異った歌謡的な即興歌を歌い、いわゆる世俗音楽の基礎を作り上げましたが、ロシアの吟遊詩人は英雄の業績や外敵とのたたかいを描いた「戦記もの」を物語るようにうたう叙事詩がその中心でした。このことは、ロシア民謡に物語風、会話風な要素を強く植えこんだようです。

16、17世紀になると貴族文化が栄え、農民への圧政が行われるようになり、これに不満を持った農民は、各地で一揆をおこしました。この中心となったのがドン河地方に住む、コサック人達でした。1670年代にヴォルガ河畔に起った大暴動の指導者ステパン・カラージンは、貴族から掠奪した物品を貧しい農民たちに分け与えました。この英雄を賛えたのが有名な「ステン・カラージン」です。

ロシア民謡の特長は、殆んどが合唱の形式をとっていること、冬の長いロシア、苦しみ明け暮れた農民の生活などによる哀愁感、そして東洋的な感覚が強いことなどです。これは厳しい自然、地主の圧迫から身を守るには「団結」が尊いことを知り常に集団生活を続けて、音頭とりが一節を歌うとつづいて合唱になるというのが常です。そしてキエフ侯国時代に東洋諸国に接する国々から東洋旋法（五音音階）が入り影響を受けたものと思われます。

老いた母親が娘のためにぬっている結婚式の晴着を歌った「緋色のサラファン」「ステン・カラージン」「夕の鐘」ヴォルガ河を上下する船を引く人々の綱引歌「ヴォルガの船歌」を本日演奏致します。

1. 緋色のサラファン

津川圭一 訳詞

福永陽一郎 編曲

2. ステンカラージン

与田圭一 訳詞

加藤啓郎 編曲

3. 夕の鐘

ホルトニコフ 作曲

秋山日出男 作詞

4. ヴォルガの舟唄

加藤啓郎 編曲

Soon-a will be done (やがて終りの日が) 福永陽一郎 編曲

奴隷としての生活を送る黒人達。彼等には何一つの現在の楽しみも許されないのです。彼等の唯一の心のよりどころは、天に在る神であり、イエスであり、聖母マリアなのです。「やがて此の世のもろもろの苦しみも終りを告げるだろう。私は天国に行くのだ。私は私より先立っていった兄弟（はらから）達、イエス、聖母マリアにお会いしたい。愈々私も神と共にこれから暮す事が出来るのだ。ハレルヤ」

曲は急テンポのユニゾンで始まり、黒人霊歌特有の各パートのかけ合いの内に次第に高揚して終わります。

Wade in de Water (水をわけて) 福永陽一郎 編曲

皆さま方の中にはあのセシル・B・デミルの「十戒」をごらんになられた方が沢山いらっしゃると思います。旧約聖書「出エジプト記」に記されたモーゼの苦難に充ちたイスラエルへの旅、そしてあの紅海での奇蹟。「今モーゼに率いられたイスラエルの民が紅海の水をわけて進んでいく」—Wade in de water とシンコペーションで何度もつづられる中にメロディーがバリトン・テノールへと受けつがれています。

Swing low Sweet Chariot (揺れるよ幌馬車) H.T. Burleigh 編曲

余りにも有名なものの1つ。今日は新しい編曲のもので聞いていただきます。あのドヴォルザークの交響曲第5番「新世界より」の第一楽章にこれと似たメロディーがあるとかないとか、必ずレコードのジャケットに書いてありますが、私達の耳には今尚 Mairan Anderson が日本で歌った時の、あの生々しい声が残っている様です。

「ヨルダンの流れを越えて、天国への馬車が私を迎えにやってくる、私を迎えにやってくるのだ」と、未だ見ぬ幸の国を夢みつつ、第Ⅱテノールが歌いつづけます。

Little Innocent Lamb (神の小羊) M. Bartholomew 編曲

黒人霊歌には、極めてテンポの速いものと、全く対照的にユックリとしたものがあります。この曲は前者の代表的なものです。然も、ロータスの最も得意な曲の一つです。

I'magon-na serve God till I die. (現世にあっても、死ぬる迄私は神にすがり、神につかえていくのだ) という言葉を伴奏として、「悪魔はとっても滑りやすい靴を持っているから、気をつけないとあなたはそれををはかされて滑ってころんでしまうよ(悪魔の誘惑に負けるの意味)」とか。

「イエス様が、悪魔の家の壁から一つれんがを抜きとられたから、今にサタンの家もがらがらとこわれてしまうよ」などといった物語がつづけられています。

(KETSU)

Member of Chor lotus

Tenor I				Tenor II				Baritone			Bass					
粟	屋	研	吾	石	川	純		荒	田	敦		岡	樞	夫		
石	原	清	宏	上	原	達	也	今	城	保		河	上	靖	登	
岡	崎	富	男	内	田	純	一	大	原	敦		須	原	銀	兵	衛
奥	田	博	之	尾	崎	幸	成	菊	池	武	志	武	内	成	礼	
尾	関	安	英	小	山	田	正	近	藤	寛	治	竹	内	正	光	
郷	原	真	清	景	山	敏	明	末	丸	紘	三	中	野	重	行	
高	杉		潔	喜	多	利	正	未	光	智	茂	長	野		護	
中	屋	耿	爾	河	野	一	郎	高	田	智	介	林		英	生	
湊			武	曾	田	益	弘	田	中	茂	人	平	松	正	勝	
山	崎	泰	弘	立	石	一	馬	德	丸	勲	三	前	島	泰	仁	
				友	利	哲	二	橋	本	浩	明	三	村	泰	永	
				西	田		茂	広	瀬	正	造	安	田	正	幸	
				藤	沢	義	人	堀		堅	紀	余	財	伸	一	
				渡	辺	泰	弘	山	本	安	紀					

Lotus の今年の活動

- | | | | |
|-------------|---------------------|------------|-------------------|
| 1961. 4. 17 | Chor Lotus 結成 | 10. 28 | 合唱祭 (コンクール県予選) |
| 1962. 1. 24 | 第1回定期演奏会 | 11. 2 | 大学祭 前夜祭 |
| 5. 30 | 平田洋裁ファッションショウ賛助出演 | 11. 4 | コンクール中国予選 |
| 7. 1 | 県合唱祭 | 11. 10 | 灘崎中文化祭出演 |
| 7. 12—19 | 那岐山夏季合宿 | 11. 23 | 全日本コンクール (東京文化会館) |
| | 豊沢中、勝北中にて演奏会 | 12. 24—27 | 冬季合宿中央公民館にて |
| 7. 21 | 岡大 Glee Club と合同演奏会 | 1963. 2. 2 | 第2回定期演奏会 |
| 10. 21—27 | 強化練習 | | |

各社ピアノ・オルガン

ソニーテープレコーダー

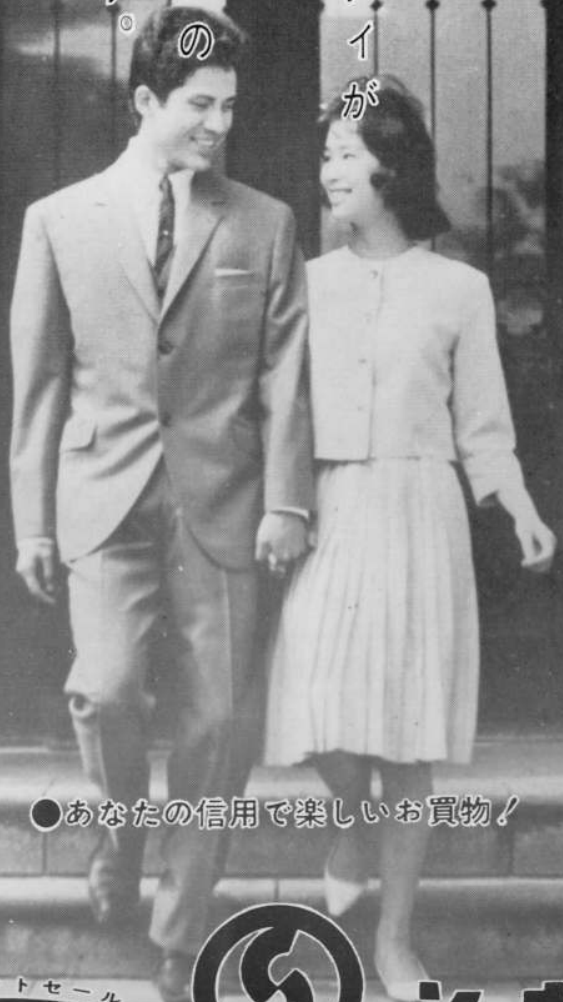
中信販チケットでどうぞ

技術の店

有限会社 **長谷川楽器店**

岡山市内山下栄町口電停前 TEL②4470

ヤングマンとレデイが
語り合う時……
それはシヨウキンの
モードハントです。



●あなたの信用で楽しいお買物!

クレジットセール
10ヵ月プラン



シヨウキン



うなぎ・てんぷら・すきやき・すし
中華料理・お酒・やきとり・釜めし
スパゲッティ・お好み焼・鯛やき
喫茶・アイスクリーム・ホットケーキ

味じまんのれん街

岡山会館
九階 **名食街**

ご宴会・ご宿泊・お食事は！

政府登録

HOTEL NEW OKAYAMA

岡山駅前 TEL(代)③8211

CHOR · LOTUS · RECITAL
1963 · 2 · 2 · (Sat.)